



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

7月号

令和5年6月21日

URL:<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawada/>
E-mail: ky-e-mutudai@city.yokohama.jp

もっと知りたい 地域のこと

児童支援専任 高味 裕二

雨に映える紫陽花が美しいこの頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか。かく言う私は、通勤時にレインコートの袖を通すたび、梅雨明けを待ち遠しく感じています。学校では、休み時間以外遊びができない日が増え、何となくすっきりしない様子の子とも達も見えます。6月下旬から夏休み前までは宿泊を伴う行事が続くので、天気予報をたびたび確認することになりそうです。

さて、今年度で私は児童支援専任となり5年目、そして六つ川台小学校に着任して9年目を迎えました。思い返せば、このまちの様子もいろいろ変わってきたことに気がきます。着任した頃の六つ川二丁目の信号付近には、ドラッグストアでなく衣料品量販店が、斜向かいには入浴サービスでなくコンビニエンスストアがあったと記憶しています。

それ以前はどんな様子だったのでしょうか。職員室前の廊下に飾ってある航空写真を見ると、プールの裏側に大きな工場を確認することができます。着任当時の職員から、段ボールを作る工場があったと聞きました。今でも表札が残されていますね。

2年生の担任をしていたときに、まち探検で六つ川台団地を訪れたことがあります。そこで自治会長さんから40年以上前の写真を見せていただき、当時パークタウンがまだなく緑の多い丘だったこと、今オーベルが建つ場所に航空会社の社宅があったことを知りました。児童支援専任になり、放課後キッズクラブの活動を見に行った際には、実在した大池を整地して池の平の住宅ができたこと、大池の近くに小池があったことをチーフより教えていただきました。

もっと昔のことが知りたくなった私は、一冊の本を見つけました。「みんなのまち 六つ川台」という創立20周年記念誌です。それによると、およそ1世紀前の1927年（昭和2年）にこのまちは「横浜市中区六つ川町」となったとのこと。

何だかとても都会な感じがしたので、ウィキペディアで検索すると、横浜市が区制を施行したときには、鶴見・神奈川・中・保土ケ谷・磯子の5区しかなく、今の中区・西区・南区・港南区をまとめて中区としていたこと、16年後の1943年（昭和18年）には分区分されて「南区六つ川町」になったことが分かりました。ちなみに今のように「南区六つ川〇丁目」となったのは1967年（昭和42年）のことだとか。以前、まち探検で学区に出た際、「六つ川町」の表記を残した表札を発見しましたが、そのお宅は半世紀以上このまちに残り続けているのですね。

6月後半から7月にかけて、まちとともに歩む学校づくり懇話会、学校運営協議会、学校家庭地域連絡協議会総会など、まちの方々、保護者の方々のご意見を伺うことが多くなります。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力の程よろしく願いいたします。